～地域とともに、想いを紡ぐ～
支え合いの歩み 50 年
その先の未来へ

竜王町社会福祉協議会

令和7年度事業報告書

社会福祉法人　竜王町社会福祉協議会

※本報告書は、社会福祉法に規定する事業報告書及び事業報告書を補足する重要事項である付属明細書を「事業報告書及び付属明細書」として一体的に作成しています。

【総括報告】

近年の物価高騰は、私たちの生活に大きな影響を及ぼしてきましたが、加えて、今年2月からの中東情勢の悪化により今後の生活がどのようになっていくか、先の見えない不安な状況となっています。

また、急速な少子高齢化、人口減少、そして人口の首都圏への一極集中などにより、地方では核家族化、世帯人員の減少が進み、自治会活動をはじめとした地域活動が行いにくい状況が起こるなど、地域を取り巻く環境が大きく変化しています。

このような中、竜王町社会福祉協議会では、令和7年9月に将来的な展望に基づく「将来ビジョン」を明らかにして取り組むべき重点課題を定めた中期経営計画を策定しました。

また、社会福祉協議会の事務所は、行政の窓口ワンストップ化に伴い、令和7年9月から福祉ステーションから保健センターに移転しました。

令和7年度の地域福祉活動の取り組みとしては、各地域で行われている福祉委員会活動の支援をはじめ、見守り活動の推進や気にかけあう会議の開催支援を行いました。

また、民生委員児童委員と協働して、地域との接点がなく、つながりがない人について聞き取りを行いました。今後、行政や専門職との連携やつながりづくりなど個別ケースに対する支援、生活困窮や社会的孤立の方たちを支える多機関協働のネットワークづくりを進めていきます。

竜王町地域福祉活動計画は３年目となり、これまでの活動の振り返りを行い、今後2年間で取り組むべき課題を整理し、計画を推進していきます。

本会では、令和6年度から受託している一時預かり事業では、2年目の今年度から当日予約による利用も可能とし、延べ889人の利用があり、昨年度に比べ160人余りの増加となりました。

今後、令和7年度の出生数の減少に加え、1歳から保育園に入園することが多く、利用者の減少が予想されますが、利用者の思いに寄り添った取り組みとなるよう事業を推進していきます。

この報告書において、令和7年度の活動を振り返り、成果や課題を明らかにし、令和8年度につなげていきたいと思います。

【重点的取り組み報告】

1.組織基盤の強化に向けた中期経営計画の策定

本会では、地域福祉活動計画を推進するにあたり、中核的な役割を担う社協組織の基盤の安定、発展及び強化を図るため、「竜王町社会福祉協議会中期経営計画」を令和7年9月に理事会、評議員会の承認を受け策定しました。

2.福祉委員会（自治会）活動の取り組みによる見守り支えあい活動の推進

自治会ごとに組織されている福祉委員会を中心に地域福祉活動が活発に行われています。令和7年度は、新興住宅地の福祉委員会において、普段の見守りと災害時要配慮者を合わせた形で見守りの仕組みづくりを行っていこうとする取り組みも生まれ、職員が話し合いの場に加わって、その取り組みを後押ししました。

3.竜王町みんなで助け合いのできる地域協働型災害ボランティアセンターの構築

災害時に備え災害ボランティアセンターの体制整備を行うことが社会福祉協議会には求められます。

令和7年度の取り組みとしては、ダイハツが竜王工場で実施を計画されている研修会（訓練）に社会福祉協議会が協力することになり、打ち合わせを行うとともに、先行して実施された研修会（訓練）に参加しました。

しかし、住民と協働した訓練や話し合う機会を持つことはできませんでした。

4.暮らしづらさがある人の支援（相談支援活動の充実）

民生委員児童委員と協働して、地域との接点がなく、つながりがない人について聞き取りを行いました。

行政や専門職との連携やつながりづくりなど個別ケースに対する支援、生活困窮や社会的孤立の方たちを支える多機関協働のネットワークづくりを進めていきます。

5.受託事業を活用した住民同士のつながりづくり

受託事業については、定期的に行政担当課と担当者会議を開催し、事業の進捗状況や参加者の課題について情報共有し、解決に向けて取り組みました。

また、それぞれで実施している企画について、取り組みを共有し、取り入れられる事業については別の事業でも実施しました。

6.法人化50年に向けた取り組み

令和8年に法人化50周年を迎えるにあたり、令和8年度に取り組む記念事業について、事務局内で検討会議を行うとともに、助成事業については、善意銀行運営委員会において協議を行い、取り組み内容を決定しました。

【事業実施報告】

■総務・法人運営に関すること

1.法人組織および事務局機能の強化

民間の社会福祉法人として、次の会議を開催し、透明性のある法人運営に努めました。

(1)法人運営機能の充実・強化

①理事会

業務執行上の事項および当面する課題について、審議、企画立案を行いました。

開催日	議事内容
令和7年 6月9日	①令和6年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会事業報告の承認について ②令和6年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会会計決算の承認について ③竜王町地域福祉活動計画(令和6年度事業報告)の承認について ④令和7年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会第1次補正予算の同意について ⑤第 26 期社会福祉法人竜王町社会福祉協議会理事・監事候補者の推薦について ⑥社会福祉法人竜王町釈迦福祉協議会評議員選任候補者の推薦について ⑦令和7年度定時評議員会の日程、場所および議題の承認について
6月 27 日	①社会福祉法人竜王町社会福祉協議会会長、副会長および常任理事の選出について ②社会福祉法人竜王町社会福祉協議会選任・解任委員会委員の選任について
7月 30 日	(協議事項) ①中期経営計画の策定について
9月8日	①社会福祉法人竜王町社会福祉協議会定款の変更について ②社会福祉法人竜王町社会福祉協議会職員の育児・介護休業等に関する規程について ③中期経営計画の承認について ④社会福祉法人竜王町社会福祉協議会評議員候補者の推薦について ③令和7年度第 2 回評議員会の日程、場所および議題の承認について
11 月 19 日	①社会福祉法人竜王町社会福祉協議会経理規程の改正について ②社会福祉法人竜王町社会福祉協議会就業規則の改正について ③竜王町ボランティアセンター設置要綱の改正について (協議事項) ①毎年の予算編成に伴う支払資金残高(繰越金)の使途と上限額について ②令和8年度予算要望について
令和8年 1月 26 日	(協議事項) ①管理職と職員間の意思疎通、指導体制向上のための取り組みについて
3月 13 日	①社会福祉法人竜王町社会福祉協議会職員就業規則の改正について ②社会福祉法人竜王町社会福祉協議会職員給与規程の改正について ③社会福祉法人竜王町社会福祉協議会臨時職員の雇用に関する要綱の改正について ④令和7年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会社会福祉事業会計第2次補正

	予算について ⑤令和8年度竜王町社会福祉協議会事業計画について ⑥令和8年度竜王町社会福祉協議会社会福祉事業会計予算について ⑦役員等賠償責任保険の加入およびこれに伴う保険料負担について ⑧令和7年度第3回評議員会の日程、場所および議題の承認について

②評議員会

運営管理上の重要事項および業務執行上の基本方針について、審議、議決を行いました。

開催日	議事内容
令和7年 6 月 27 日	①令和6年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会事業報告の承認について ②令和6年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会計算書類（貸借対照表および収支計算書）および財産目録の承認について ③竜王町地域福祉活動計画（令和6年度事業報告）の承認について ④社会福祉法人竜王町社会福祉協議会役員、評議員および評議員選任・解任委員の報酬および費用弁償に関する規程について ⑤令和7年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会理事および監事の報酬額（総額）について ⑥令和7年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会第1次補正予算の承認について ⑦第 26 期社会福祉法人竜王町社会福祉協議会理事・監事の選任について
9月 17 日	①社会福祉法人竜王町社会福祉協議会定款の一部変更について ②竜王町社会福祉協議会中期経営計画について
令和8年 3 月 26 日	①令和7年度竜王町社会福祉協議会社会福祉事業会計第2次補正予算について ②令和8年度竜王町社会福祉協議会事業計画について ③令和8年度竜王町社会福祉協議会社会福祉事業会計予算について ④令和8年度竜王町社会福祉協議会理事および監事の報酬額（総額）について

③監事会

運営管理、事業の執行状況および財産の状況等について監査を行いました。

開催日	内容
令和7年 5月 28 日	令和6年度社会福祉協議会事業執行状況および会計の監査

④評議員選任・解任委員会

評議員の改選に伴いおよび適宜、評議員選任・解任委員会を開催し、適正な選任を行いました。

開催日	内容
令和7年 6月 12 日	社会福祉法人竜王町社会福祉協議会評議員の選任について
9月 25 日	社会福祉法人竜王町社会福祉協議会評議員（補欠）の選任について

⑤会長・副会長等三役会議

業務執行上の事項および運営管理上の事項について、方向性を検討しました。

開催日	内容
令和7年 6月　3日	①令和7年度第１回役員会議案について ②事務所移転について
8月 27 日	①令和7年度第4回役員会議案について ②採用試験について
12 月 23 日	町長懇談を終えて
令和8年 3月 10 日	①令和7年度第7回役員会議案について ②職員退職に伴う新たな職員募集について

⑥財務・労務管理

税理士および社会保険労務士と委託契約を締結し、指導、助言を受け、適正な財務執行に努めました。

⑦中期経営計画の策定

令和7年度は、2回の策定委員会を開催し、役員会および評議員会の承認を得て9月に完成しました。

⑧事務所の移転

8月末日に、福祉ステーション2階から保健センター1階に事務所を移転しました。

⑨法人化 50 年に向けた取組

令和8年に法人化 50 年を迎えることを契機に 50 周年記念事業に取組む企画会議を5回開催しました。

（2）部会・委員会機能の充実・強化

①法人運営部会

中期経営計画の策定を行い完成しました。

開催日	内容
令和7年 5月 30 日	中期経営計画の策定委員会を実施 経営目標および基本計画等について、協議および意見交換を行った。
6月 19 日	中期経営計画の策定委員会を実施 全体構成および文章等について確認を行った。
11 月 11 日	①部会長および副部会長の選出について ②前期末支払資金残高の活用計画について ③次年度の予算要望について（経過報告）

②地域福祉推進部会

地域福祉推進部会では、地域福祉活動計画を基に気にかけあう会議やボランティアの育成・支援等について協議しました。また、ブロック別懇談会の企画についても協議を行いました。

開催日	内容
令和 7 年 10月3日	①　第4期地域福祉活動計画の進捗報告について ②　地域福祉ブロック別懇談会について
令和 8 年 3月4日	①　第4期地域福祉活動計画の進捗報告について

③受託事業部会

令和7年度、実施なし。

④広報部会

開催日	内容
令和７年 ６月 26 日	福祉りゅうおう NO.149 号（8 月発行）について検討
９月 29 日	福祉りゅうおう NO.150 号（11 月発行）について検討
令和８年 1月 ７日	福祉りゅうおう NO.151 号（2 月発行）について検討
3月 30 日	福祉りゅうおう NO.152 号（5月発行）について検討

（3）役職員研修会等の実施

①役員研修

会長が、トップセミナーや社協会長会での研修に参加しました。

②職員研修

滋賀県社会福祉協議会等が主催する社協職員研修などへの出席、内部研修を実施しました。

開催日	内容
6月24日	生活福祉資金実務研修会
8月1日	生活再建支援事業スタートアップ研修会
9月3日	特例貸付 kintone 導入 入力操作説明会
10 月 10 日	地域福祉担当者会議
12 月 8 日	地域福祉担当者会議
令和8年 1月 21 日	災害対応マニュアルおよび事業継続計画（BCP）の確認に伴う、災害ボランティアセンターの立上について
2 月 6 日	ボランティア担当者会議
2 月 9 日	地域福祉担当者会議
2月 18 日	人権研修
2月 25 日	カスタマーハラスメント研修
3月24日	コロナ特例貸付相談支援室 研修会

③局内会議の実施

開催頻度	会議名称
2 週に 1 回	進捗会議（部門間連携を行い、情報共有と進捗状況の把握）
月 2 回程度	地域シェア会議（地域福祉事業の運営協議）
毎月1回	こどもひろばスタッフ会議（こどもひろばの運営協議）
毎月 1 回	生涯現役事業内部会議

毎月１回	地域福祉権利擁護事業内部会議
随時	総務・法人運営グループ会議

2.安定した事業財源の確保

（1）会員会費の拡充

①一般（世帯）会員加入の理解促進

会費の趣旨説明、会員募集の周知および会費徴収について、各自治会長宅を訪問してお願いし、自治会の協力のもと、事業財源の確保と地域福祉活動の充実を目指しました。

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
一般会費（世帯 1,000 円）	1,088,819 円	1,097,496 円	1,174,472 円

②賛助会員の加入促進

企業、商店、個人の皆様に対し、訪問などにより協力依頼を行いました。

1企業（特別会員）、個人2名が新規会員に加入されました。

		令和7年度	令和6年度	令和5年度
賛助会員（2,000 円以上）	企業・商店	95 件（230,000 円）	95 件（231,000 円）	92 件（224,000 円）
	個人	25 件（ 64,300 円）	30 件（ 77,000 円）	38 件（ 90,000 円）
特別会員（10,000 円以上）	企業・商店	40 件（460,000 円）	31 件（370,000 円）	33 件（390,000 円）
	個人	11 件（110,000 円）	13 件（130,000 円）	11 件（110,000 円）
その他	個人	2件（2,000 円）		
合　計		866,300 円	808,000 円	814,000 円

（2）新たな事業財源の確保

①助成金の活用

令和7年度活用実績なし。

②広報広告募集

広告掲載：1件。

（3）善意銀行の管理・運営

①善意銀行運営委員会の開催

寄附金（物品）の管理と目的に沿った使途および必要時の地域福祉推進活動者への預託金払い出しのための審議を行いました。

開催日	協議事項
令和7年 10 月 17 日	①ボランティアグループ創設事業にかかる助成金の確定について ②ボランティア活動応援事業にかかる寄附金の払出について
令和8年 2月 27 日	①ボランティアグループ創設事業にかかる助成金の確定について（再） ②令和8年度の助成事業について

②災害時等の支援に要する費用の管理

災害時に備えた費用の準備と必要時の活用のため、寄附の一部を継続的に預金、管理しています。

③善意銀行預託金の活用

ボランティア活動応援助成・・・1件

令和8年度の助成事業について善意銀行運営委員会で諮る。

・法人化 50 周年記念助成事業

・多子世帯養育支援金

■地域福祉の推進に関すること

地域福祉活動計画

基本目標1「であいとわかちあいで風土づくり」	
	活動目標1－1　「共生の心を育む学びの場づくり」
	1－2　「多様な関わりを増やすしかけづくり」
基本目標2「お互い様の支えあいで仕組みづくり」	
	活動目標2－1　「多様な交流の場づくり」
	2－2　「地域での支えあいの仕組みづくり」

1.小地域福祉活動の推進

（1）福祉委員会活動の支援

事業	実施日	事業内容
福祉のまちづくり運動推進地区助成事業	年間	地域の方々の福祉意識の向上と地域課題解決のための組織的な取り組みとして、福祉委員会を中心とした福祉活動へ助成金を交付しました。 実績：　30 地区
地域訪問	年間	地域のさまざまな活動や話し合いの場に参加し、地域関係者だけでなく地域住民との交流を持ち、地域との信頼関係構築に努めるとともに、地域ごとの課題や地域力を把握して地域でのつながり、支えあいの取組につなげました。 地域の状況や困りごとなどの把握を行い、地域へフィードバックや支援に必要な専門機関へつなげました。 実績：下記参照
地域カルテの更新と整理	年間	自治会の人口動向、福祉の取り組み、福祉委員会等の活動組織や人材など、地域の福祉活動状況について、定期的に情報の更新と整理を行い、地域の課題を把握して地域訪問の目的を明確にし、地域ごとの課題解決やそれぞれの特性を生かした地域づくりに活用しました。 また、整理された情報は、懇談会等で地区に提供し、有効的に活用しました。

（2）地域でのつながり支えあいの取組支援

各地区で取組まれている住民主体の活動が推進されるよう、他地区の取組を紹介するとともに活動者がつながり、連携を取りながら支援を行いました。

身近な地域での福祉活動の重要性が高まっており、継続して支援していきます。

<地域訪問実績・相談対応実績>

	令和７年度	令和６年度	令和５年度
地域訪問実績合計	135 件	176 件	144 件
地域福祉活動に関する相談	390 件	452 件	477 件

<地域福祉活動に関する相談内容>

相談内容	相談件数
通いの場の取組	27 件
見守り訪問活動	28 件
フードドライブ	18 件
その他	85 件

相談内容	相談件数
子ども食堂	31 件
ボランティア	179 件
福祉学習	10 件

相談内容	相談件数
地域の会議	4 件
防災・減災	1件
研修等	7 件

事業	実施日	事業内容
居場所づくりの支援	随時	・コミュニティカフェ（対象を限定しない）　24 ヶ所 ・サロン（対象を限定）　18 ヶ所 ・おたっしゃ教室　11 ヶ所 ・子ども食堂　町域 4ヶ所　地域 3ヶ所 子ども食堂へ定期的に活動状況を聞き取りました。また、こども食堂による連絡会を立ち上げ、互いの活動共有や町助成金を活用した運営支援を実施しました。
見守り活動の推進	随時	・福祉委員会や住民同士の見守り・支えあい活動の推進 地域の様々な活動団体による見守りや支えあい活動を進めると共に、各団体が見守りネットワークを築き、地域の人がお互いに支えあう仕組みづくりを進めていきます。
話し合いの場の推進	随時	・気にかけあう会議の開催支援 地域での暮らしが心配と思われる事や気にかけあっていることを話し合うなど地域で相談する場を作る取組みを行っています。会議の場の開催に向けて、各地区の福祉関係者などを中心に話し合いや共有の場の大切さを伝えました。また、地域での話し合いの場に参加し、気にかけあう会議の開催支援や地域課題の把握を行いました。（気にかけあう会議開催地区：8 地区） ・自治会域の活動では解決できない課題について、自治会域を超えて実施する仕組みの検討 福祉委員会の取組について、見守りの推進や気にかけあう会議の推進など地域の中での福祉活動を見直すことを優先し取り組みを進めています。自治会域を超えた活動については、地域での活動を見直す中で、テーマ設定など地域の様々な担い手の声を聞きながら、検討を進めていきます。

		・各地区での研修会や福祉委員会など話合いの場への参加・支援 　各地区で開催される福祉委員会などに社協職員が講師として参加、活動事例や活動時のポイントなどを紹介し、地域での取組の推進を支援しました。 　また、福祉委員会等にも参加し、地区活動の状況や課題の把握を行いました。 職員参加件数：12 件 （見守りや支えあいをテーマとした地区数：5 地区）
ひとり暮らし高齢者見守り配食事業	6 月 21 日 11 月 8 日 1 月 10 日 3 月 14 日	赤十字奉仕団の協力によりお弁当を作っていただき、民生委員児童委員による各お宅への配食を通じて一人暮らし高齢者の見守り活動を実施しました。 　また、民生委員児童委員から見守り状況の報告を受け、地域包括支援センターと情報共有を行い、一人暮らし高齢者の支援等について確認しました。 ・お弁当のお届け 79 人 ・お弁当のお届け 75 人 　おたよりボランティアによるお手紙をお届け ・お弁当のお届け 78 人 　おたよりボランティアによるお手紙をお届け ・お弁当のお届け 71 人 　いつまでも元気クラブミシン講座受講者さんから手提げ袋のプレゼント
災害時の助けあい体制の推進	年間	・災害を見据えた「近助事業」の実施 　大規模災害時等の避難行動支援などを見据えた、日頃からの近所の関係づくりを進める「近助」体制づくりを小地域福祉活動の柱として推進しました。
多文化共生の地域づくりの推進		実施なし。

<物品貸し出し>

	令和 7 年度	令和 6 年度	令和5年度
レク用品貸出	65件	56件	60件
イベント用品貸出	8件	13件	16件
鉄板一式	―	―	―
かき氷機	―	1件	4件
ポップコーン機	3件	3件	6件
綿菓子機	5件	9件	6件
紅白幕	6 件（21枚）	9件（30枚）	8件（34枚）

（3）研修会等の実施

事業	実施日	事業内容
地域福祉三者研修会	5月 19 日 5月 21 日 5月 22 日	各地区の小地域福祉活動の推進者である自治会長、民生委員児童委員、福祉委員の方々をはじめとする福祉委員構成員が協力して取り組みを進められるよう、三者を対象とした研修会を開催しました。 岡屋・松陽台・岩井・須恵・山面・山中・田中・林・橋本 信濃・庄・東出・川守・薬師・綾戸・西山・鵜川・小口・弓削・川上 駕輿丁・島・七里・新村・希望が丘・松が丘・美松台・鏡・さくら団地・西川・西横関・西出
地域福祉ブロック別懇談会	10 月 20 日 10 月 22 日 10 月 24 日	「住民同士の支えあい活動」をテーマに、災害を見据えた日頃の区長・福祉委員・民生員児童委員が連携した取り組みについて、町内での事例紹介や情報交換を実施しました。 庄・信濃・川上・島・駕輿丁・七里・田中・鵜川・岡屋・西横関・須恵 弓削・綾戸・林・西出・新村・東出・川守・西川・松陽台・薬師・綾戸 西山・希望が丘・さくら団地・美松台・松が丘・小口・鏡・岩井・山中・山面・橋本
テーマ別研修会、交流会	4 月 23 日	・テーマ別地域福祉活動情報交換会 こども食堂ネットワーク会議を開催し、7 か所のこども食堂と情報交換会を開催しました。この会議は、連絡会として今後も継続して活動を予定しています。

2. 福祉関係団体等への支援および関係機関との連携

（1）当事者団体等への支援

事業	実施日	事業内容
当事者団体の支援	随時	母子福祉のぞみ会への資金助成を行いました。 また、団体が実施する事業等への協力を行いました。
ひとり暮らし高齢者支援事業	9 月 29 日	ひとり暮らし高齢者のつどいを開催しました。 一人暮らし高齢者の方々が自宅で閉じこもり予防や、外へ出る機会を作り、楽しいひとときを過ごしていただくことを目的に開催しました。 民生委員児童委員協議会の高齢者福祉部会の方々にも参加していただき、身近に相談できる相手がいることや、身の回りの事に関する啓発なども行い、安心して一人暮ら

		しが継続していくことができるよう支援しました。 （内容） ・レクリエーション ・参加者同士や民生委員さんと交流 ・交通安全、健康、防犯についてなど啓発やチラシの配布 （参加者）　27 人

（2）福祉団体への支援

事業	実施日	事業内容
地域福祉活動助成事業	年間	自主的に福祉活動を行う老人クラブ連合会をはじめとする福祉団体からの申請に基づき、運営費の一部を助成し、支援を行いました。 町内の小中学校を対象に福祉教育活動に対する助成を行うことで福祉教育の充実に努めました。

（3）関係機関との連携・支援

事業	実施日	事業内容
関係機関との連携	随時 毎月	町行政が主催する重層的支援会議、精神ケア会議および継続系支援会議等に参画し、社協の事業や活動で得た個別の課題情報等の共有を行いました。 社会福祉法人連絡会は実施できませんでした。 多分野連携で地域課題解決を図る、子育て分野を中心とした協議体「ちえりんぐ」に参加しました。 子ども食堂を運営する団体による連絡会を立ち上げ、情報交換の場を設けました。
事務局支援	年間	竜王町共同募金委員会 日本赤十字社竜王町分区 遺族会 護国社奉賛会 民生委員児童委員協議会

3. ボランティアセンターの運営

（1）ボランティアセンター機能の充実

事業	実施日	事業内容
ボランティアセンターの周知	年間	ボランティアセンターとして、日常的なボランティア相談・登録・斡旋に加え、連絡調整を行いました。 （相談内容） ボランティア派遣　32件 福祉教育　18件 その他　165件

ボランティア活動の啓発	年間	新たなボランティア活動の啓発、活動の場の情報提供を行いました。 活動の啓発として、ホームページ、インスタグラム、ラインを活用し、年4回の福祉りゅうおうに「ぼらんてぃあ通信」を掲載しました。また、近隣施設の公民館や図書館、フレンドマート等に協力いただきポスター等掲示していただき、そのポスターによりボランティアに参加下さった方もいました。令和 7 年度個人ボランティア 6 人が登録、また 1 人は他団体へ紹介し活動を始められました。団体としては 1 組登録いただきました。
ボランティア活動の継続支援	年間	ボランティア保険の加入促進を図り、加入手続き支援を行いました。 活 動 保 険： 683 人（前年度:668 人） 行事用保険 ： 24件（前年度： 8 件） また、活動状況を把握するなど、活発なボランティア活動を支援しました。 善意銀行を活用してボランティア活動応援助成金交付事業を実施しました。 決 定 件 数： 1件（今年度より実施）

(2) ボランティア講座・研修会・交流会等の開催

社協レクお試しデイ	11 月 13 日		社協で貸出ししているレクリェーション用具を地域で福祉活動を担っておられる方、ボランティアさんに体験していただき地域での活用を促進する。また、社協とのつながりづくりを目的に開催しました。 開催時期が遅くなり、参加者が少なく、施設の方にも声をかけた。開催後施設からレクリェーション用具の貸出し希望や、ボランティア依頼が増えました。 参加人数： 13人
気軽に参加できるボランティア活動	5 月 22 日 7 月 24 日 9 月 26 日 11 月 20 日 1 月 29 日 3 月 19 日	9人 6人 6人 6人 7人 8人	社協に集まった切手の大きさ等を整える作業ボランティアを募集しました。気軽に参加できるボランティアということから口コミで参加者が増加し、活動も 2 ヶ月に 1 回のペースで定着してきました。 今年度は、メンバーで話し合い、整理した切手を「世界のこどもにワクチンを委員会」と「誕生日ありがとう運動本部」へ送付しました。 古切手の収集についても、新たな団体や企業から寄付いただくなど活動が周知されてきました。また、この活動の中でボランティア情報の交換等の機会にもなってきています。

（3）福祉学習の推進

児童に対する福祉学習の支援を行いました。また、未就園児親子を対象とした高齢者施設との交流を実施し、将来、子どもたちが大きくなった時に福祉への関心をもてるきっかけづくりとしました。

〈小中学校での福祉学習の支援〉

町内の小学校に対し、福祉体験の指導や講義などの総合学習などにおける支援を行いました。

竜王小学校	令和７年 ９月 12 日 令和８年 １月 22 日 2月2日	 車いす体験（4年生） 聴覚障がいに関する学習・手話体験（5年生） 視覚障がいに関する学習・点字体験（3年生）
竜王西小学校	令和７年 ７月９日 ９月 19 日 10 月 21 日	 車いす体験 視覚障がいに関する学習・点字体験 聴覚障がいに関する学習・手話体験
竜王中学校		中学校のカリキュラムなどにより、日程の調整が難しかったため、今年度は実施なし。
プチどらにこにこプロジェクト	９月 16 日	こどもひろば「おさんぽデー」の一環で、グループホーム希望の家との交流を１回実施し、福祉の心を育む一つの機会となりました。

（4）災害ボランティアセンターの体制づくり

災害ボランティアセンター運営体制の整備 企業等への災害ボランティアセンターの啓発 災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施	年間 2月 18 日 11 月 16 日 令和8年 １月 21 日	企業との災害ボランティアに関する体制を構築するために、ダイハツ（株）滋賀竜王工場の担当課と今後の研修等の取り組みについて協議しました。また、ダイハツの県外の拠点で開催されたコーディネーター養成講座にも参加し、他県の市社協ともつながりを作ることができました。 また、近江八幡市が主催する災害ボランティアセンターの訓練への参加し、近隣市町社協と共に災害時を見据えた体制作りを進めています。 地震による大規模災害の被害を想定し、災害対応マニュアルおよび事業継続計画（BCP）の確認を踏まえ、職員の行動や災害ボランティアセンターの立上げの確認を座学により実施しました。 また、町の地域防災計画について、関連項目を確認しました。

（5）フードドライブ事業の実施

フードドライブ事業を活用し、支援を必要とされる方々との接点づくりを行いました。また、子ども食堂を実施する団体や子どもの育ちを支援する団体への支援を実施しました。

〈生活困窮者支援のためのネットワークづくり〉

フードバンク滋賀や町内農家などの関係団体から協力を得て、生活困窮者への食糧支援につなげました。

また、子ども食堂への食材等の提供などを行い、課題のある家庭など個別の情報を健康推進課等行政担当課に共有するなどの連携支援を行いました。

4. 仲間づくり、生きがいづくり

（1）生涯現役事業「いつまでも元気クラブ」 （詳細は、P.25 掲載）

鏡、弓削、鵜川ふれあいプラザ等で概ね60歳以上の方を対象に、介護予防を目的とした趣味活動、健康維持、仲間づくり、文化活動、ボランティア活動など様々な活動を実施しました。

また、参加者の拡大に向けて、「しるみる竜王」や防災無線による周知を行うとともに、65 歳到達者へ福祉課が送付する配布物に本事業のリーフレットを同封し、介護予防事業の認知向上と参加促進を図りました。これらの取り組みにより、新たな参加者の獲得につながりました。

3 か月に 1 回、福祉課と定期的に会議を開催し、取り組み状況や今後の方向性について協議しながら、事業の円滑な推進に努めました。

〈令和7年度の実施状況〉

活動名	実施内容
余暇活動	・ミニ卓球でラリー ・音楽で気分転換 ・健康麻雀
交流支援	・えんがわカフェ
運動器 機能向上	・DVD ヨガ体操 ・いきいき健康体操 ・にこにこ体操 ・ゆったりヨガ ・かんたん体力測定会
文化活動	・パッチワーク ・ミシン講座 ・音読講座 ・折り紙を楽しもう
自学自習	・大人の寺子屋「漢字・計算・クイズ編」、「そろばん編」 ・消費生活相談（悪質商法とその対処方法：最近の事例から） ・歯と口腔の健康 ・竜ウォーク「からだと歩き方講座」、「フットケア（足のお手入れ入門）」
ボランティア活動	・えんがわカフェ（菜の花グループによるコーヒー提供） ・ミシン講座（製作した作品を一人暮らし配食事業で配布）

・延べ開催回数：321 回

・延べ参加者数：3,144 人

（2）いきいき趣味活動（高齢者趣味活動）

高齢者自らが寄り集い、活動を通じて交流を深め合い、地域に持ち帰って地域の仲間づくりへと発展していける講座の開催に努めました。

	書道教室	編物手芸教室	合計
令和 7 年度	鵜川 12 回/ 159 人 岡屋 12 回/ 98 人	弓削 12 回/50 人 鏡 12 回/72 人	48回／379 人
令和 6 年度	鵜川 12 回/ 155 人 岡屋 12 回/ 84 人	弓削 12 回/51 人 鏡 12 回/68 人	48回／358 人
令和 5 年度	鵜川 12 回/ 142 人	弓削 12回/47人	49回／349 人

	岡屋 12 回/　71 人	あえんぼ　1 回/ 5人 鏡　12 回/84 人	

（3）こどもひろば

未就園児とその保護者を対象に下記の内容で親子の交流や各講座を通じて子育ての不安等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援しました。

保健センター2 階において月曜日から金曜日まで週5回開催しました。

様々なイベントは、鏡ふれあいプラザで行いました。

	開催日数	参加者数
令和 7 年度	234 日	延べ 5,381 人（保護者 2,484 人　子ども 2,897 人）
令和 6 年度	238 日	延べ 5,841 人（保護者 2,568 人　子ども 3,273 人）
令和 5 年度	236 日	延べ 6,616 人（保護者 2,943 人　子ども 3,356 人）

〈活動・支援内容〉

①子育て親子の交流の場の提供と交流の促進
○自然と親しむ事業 いちご狩り、芋ほり、どんぐり拾い、おさんぽデー、流しそうめん ○親のリフレッシュ 子ども服リサイクル、ベルの演奏会、菜の花カフェ、音楽にふれよう ○遊びの工夫（季節の遊び、作品作りなど） 【作品作り】こどもの日の制作、季節の制作(梅雨・栗など)、七夕飾り、どんぐり入れ、クリスマス制作、鬼のお面作り、おひな様 【季節の遊び】砂あそび、白玉粉粘土あそび、水遊び、たなばた会、クリスマス会、お正月遊び、豆まき、ひな祭り会 【その他】 大きくなったね週間、おたんじょう会
②子育てに関する相談・支援
○こどもひろば開催時にスタッフによる相談 ハローワーク説明会
③地域の子育て関連情報の提供
○「こどもひろばだより」の発行 ○各種セミナー等の案内 ○インスタグラム、フェイスブック、ホームページ、LINEの活用
①　子育ておよび子育て支援に関する講習等の実施
子育てお悩み相談室、歯のおはなし、楽しい子育てのコツ、産後の身体を整えよう、応急手当講座、交通安全のおはなし、おはなしタイム、ベビーマッサージ、トランポビクス、親子ヨガ、アレルギー講座、ミュージック・ケア、親子ふれあい遊び、折り紙を楽しもう
⑤地域の子育て力を高める取り組み（異年齢との交流）
お話サークル「トトロ」、民生委員児童委員さんとの交流、中学生チャレンジウィーク、希望の家交流
⑥子育て講習会の開催
開催なし

〈学年別ひろば〉

鏡ふれあいプラザで0歳児、1歳児、2歳児の学年毎に親子ふれあい教室を開催しました。(4月、8月、2月、3月を除き、月に1回開催)

年度	ぴよぴよ(0歳児)	よちよち(1 歳児)	わくわく(2 歳児)
令和 7 年度	8 回／237 人 保護者 118 人 子ども 119 人	8 回／110 人 保護者 54 人 子ども 56 人	8 回／76 人 保護者 37 人 子ども 39 人
令和 6 年度	8 回／321 人 保護者 143 人 子ども 178 人	8 回／192 人 保護者 80 人 子ども 112 人	8 回／230 人 保護者 101 人 子ども 129 人
令和 5 年度	8 回／251 人 保護者 115 人 子ども 136 人	8 回／285 人 保護者 137 人 子ども 148 人	8 回／152 人 保護者 64 人 子ども 88 人

(内容)

友だちづくり、ベビーマッサージ、親子ヨガ、アレルギー講座、ミュージック・ケア、親子ふれあい遊び、絵本の講座、キッチンカー、フォトフレーム作り、おもちゃ作り、運動会ごっこ、歯と口腔の健康

(4)すくすく(一時預かり事業)の実施

竜王町にお住いのどこの園にも属さない生後6ヶ月～3 歳となる年度末までのお子様の一時預かりを実施し、子育て支援を行いました。

事前予約制で(当日予約可)月曜日から金曜日の午前は 9 時から 12 時、午後は 13 時15分から16 時15分まで開催。そのうちお子様一人につき 1 回 3 時間以内、週に 2 回までの利用が可能。

一時預かりの利用により、余裕を持った通院や買い物、学校行事への参加をされ、子どもと一時的に距離を取られる事で、リフレッシュして子育てしていただける様にサポートしました。

年度	登録者数	開催日数	利用者数	利用者実数
令和7年度	55 人	235 日	延べ 889 人	46 人
令和6年度	62 人	238 日	延べ 725 人	51 人

定期的に委託元の健康推進課と実施状況や課題を共有し、運営方法等を協議しながら事業を推進しました。

健康推進課との協議	令和7年 10 月 8 日 令和8年 1 月 22 日 令和8年 3 月 13 日

■個別相談支援に関すること

地域福祉活動計画

基本目標3「多機関の重なりあいで体制づくり」
- 活動目標3−1 「相談・情報提供体制の充実」
- 3−2 「支援を必要とする人を支える体制づくり」

1.相談支援体制の充実

行政が構築する総合相談の体制に参画し、専門職等との連携の強化をすすめました。また、適宜、行政職員と一緒に相談対応を行い、複合的な課題解決にむけた支援を行いました。
インターネットやSNSなどの受け手が情報を得やすい手段を活用し、タイムリーな情報発信を実施しました。

（1）心配ごと相談所事業

住民の身近な相談窓口として、民生委員児童委員、行政相談員、人権擁護委員を相談員として毎月1回心配ごと相談所を開設しました。

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
相談件数	5件	23件	13件

〈相談内容〉（相談来所数1つにつき、複数内容の相談あり）

土地：1、ひきこもり：1件、相続：1件、苦情：1件、金銭に関する事：1件

〈紹介先〉

行政：1件（自立支援課）、弁護士：1件、司法書士：1件

・弁護士無料相談会の実施

年4回（6月、9月、12月、3月）、弁護士による無料法律相談会を実施しました。

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
相談件数	15 件	16件	13件

（6/13：当日キャンセル1件、3/19：キャンセル待ち 1 件）

〈相談内容〉（相談来所数1つにつき、複数内容の相談あり）

相続：7件、債務：1件、離婚問題：1件、職場でのトラブル：2件、経済的虐待：1件、交通事故：1件、近隣トラブル：1件、その他：1件

（2）生活困窮者自立相談支援事業

生活に困窮されている方の自立を促進することを目的として、滋賀県から委託を受け、自立相談支援事業の相談窓口として事業を実施しました。

また、フードドライブを活用した食糧支援を行いながら、相談者の自立に向けた支援を行いました。

〈相談受付〉

	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度
新規相談件数	7件	7件	4件
プラン作成数	2件	0件	0件
情報提供や相談対応で終了した件数	5件	3件	4件

他の制度や専門機関へつないだ件数	0件	4件	0件
支援の同意に向けて対応中の件数	0件	0件	0件

〈支援計画に基づく支援〉

相談者が抱える課題を把握し、その置かれている状況や本人の意思を確認することを通じ、個人の状態にあった支援計画の作成を行う体制をとりました。

家計改善を通じて、家計状況の見える化を行い、フィナンシャルプランナーによるアドバイスを受ける時間を設けました。

また、債務問題について弁護士による法律相談なども利用しました。

	令和7年度	令和６年度	令和５年度
支援計画に基づく支援件数	2件	0件	0件
新規支援計画作成件数	2件	0件	0件
支援計画に基づく支援終了件数	0件	0件	0件

（支援終了にあたっては、自立した生活を継続できるよう他制度等による継続支援を実施）

〈支援調整会議への出席〉

ハローワークや就労準備支援事業実施事業所との連携を行いました。

令和７年 ６月 17 日	新規相談対応状況
11 月 ８日	相談内容の報告、支援の方向性の検討
令和8年 ２月 17 日	支援機関の既存の制度や新規制度の情報共有

〈生活困窮者等社会参加促進事業〉

地域で生活困窮や孤立の状況にある人について、民生委員児童委員への聞取りを実施しました。また、各個別のケースの行政とのつながりや福祉サービスの利用状況を確認しました。

民生委員児童委員が気にかけ、行政等の相談支援や福祉サービスを利用されていないケースを相対的な生活困窮あるいは社会的孤立となる要因があるケースとして抽出しました。

2ヶ月に １ 回、継続的支援会議に出席し、関係各課や社協が把握するひきこもりの実態や現状について情報共有し、支援連携体制の構築に向けた協議を行いました。

また、社会参加することに難しさを感じる人に対し、フードドライブの仕分け作業や有償ボランティア活動としてグリーン近江での折込み作業など、就労体験や社会体験の場の提供を行政と連携して行いました。

「就労支援（体験）の場の提供」

・フードドライブ等仕分け作業　　6回実施 ／ 延べ参加人数　6人

・グリーン近江農協での折り込み作業　　24回実施 ／ 延べ参加人数 79 人

2. 福祉サービスの実施および利用支援

（1）生活福祉資金貸付事業

滋賀県社会福祉協議会が実施している生活福祉資金貸付事業の相談窓口として事業を実施し、総合支援資金や福祉資金などの要件に合わせた相談対応を行いました。

今年度は、福祉資金での貸付2件、教育支援資金1件の貸付決定がありました。

貸付相談に関する相談件数は 18 件あり、貸付要件に該当しない場合は、他の制度につなぐなど対応しました。

今年度から、生活再建が困難な世帯に対し、公共料金や家賃等の滞納について生活福祉資金で支払いを一本化し、家計の正常化や生活再建の意欲の向上を図る、リスタート支援資金が開始されました。

		令和7年度	令和6年度	令和5年度
総合支援資金	延べ相談	0件	2件	6件
	新規貸付	0件	0 件	0 件
福祉資金	延べ相談	16件	8件	14件
	新規貸付	2件	0件	0 件
教育支援資金	延べ相談	1件	1件	2件
	新規貸付	1件	0件	0 件
不動産担保型生活資金	延べ相談	0 件	0件	3件
	新規貸付	0 件	0件	0 件
リスタート支援資金	延べ相談	1件		
	新規貸付	0件		

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う特例貸付（令和 2 年3月 25 日～令和4年9月末で受付終了）の償還が、令和5年1月から開始されました。償還が開始される方から、順次、滋賀県社協と連携しながら「償還手続」、「償還猶予手続」、「償還免除手続」の対応や相談支援を行いました。

また、償還が滞り利息が発生している借受人のお宅を訪問し、現在の生活状況の確認を行いました。

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
特例貸付の償還に関する相談（延べ）	74件	67件	72 件
特例貸付償還猶予件数	4件	8件	2件
特例貸付償還免除件数	1件	0件	8件
借受人宅への訪問件数	6件	15件	

〈地域福祉権利擁護事業〉

認知症等高齢者、知的障がい者、精神障がい者で判断面に不安のある方が日常生活を安心して暮らせるよう、福祉サービスの利用や行政サービスの手続きにかかる本人への同行や代行、また、日常生活にかかる費用の金銭管理、書類等の預かりを行うなど、本人の自立を支える支援を行いました。

〈令和7年度の状況〉

	認知症高齢者等	知的障がい者	精神障がい者	その他
相談援助件数	575 件	571 件	234 件	2 件
新規契約件数	3 件	2 件	0 件	0 件
終了契約件数	2 件	0 件	0 件	0 件
現在契約件数	8 件	13 件	4 件	0 件

〈年度別契約件数〉

	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度
契約件数	25 件	22件	18 件

〈成年後見制度への移行支援〉

行政機関やその他の相談支援機関と連携し、地域福祉権利擁護事業利用者で成年後見制度への移行の必要性について検討を行いました。

令和７年度に申立したケース　：1件

〈食料支援〉

埋もれている悩み事への早期対応としてフードドライブ事業を実施し、生活困窮者等への食糧支援を実施しました。

フードドライブの寄付BOXをふれあいプラザや町内関係施設に設置し、フードドライブを実施しました。その他にも、関係機関・フードバンク滋賀などから協力もいただき、食糧支援を実施しました。

また、事業の周知について健康推進課などと連携しました。

フードドライブによる支援世帯：4 世帯

〈車イスの無料貸出〉

制度、施策、サービスによる車椅子の貸与や支給を受けられない方で、在宅生活で車椅子が必要な方に対し、無料で貸し出しを行いました。

福祉用具の在庫管理・メンテナンス等を行いました。

	令和7年度	令和６年度	令和５年度
貸出件数	・車椅子(短期のみ) 42件（50台）	・車椅子(短期のみ) 29件（37台） 今年度より長期貸出を中止	・車椅子 35件（46 台） 内、長期貸出(1 年間) 3件（3台）

3. ニーズ把握

事業	実施日	事業内容
要援護世帯の把握と対応	年間	民生委員児童委員の赤ちゃん訪問への協力 健康推進課と社協が連携し、民生委員児童委員協議会が行う「こんにちは！赤ちゃん訪問」事業に協力しています。 民生委員児童委員が訪問した際に聞き取った困りごとや気にかかることなどについて、各委員から事務局社協に報告を受け、情報提供や関係機関につなぐことで、乳児家庭の孤立化防止を図る機会とすることができました。
一人暮らし高齢者・高齢者のみ世帯等の把握	年間	ひとり暮らし高齢者の見守り配食事業および歳末たすけあい事業お節料理宅配助成を実施し、一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯等の状況を把握しました。 また、見守り配食事業の実施の際、町内の出来事、脳トレ、社協事業などをニュースレターとして配布し、併せて、詐欺、防火、健康などについて関係機関から提供いただいた注意喚起情報を同封して啓発に努めました。

■その他

1.広報活動

事業	実施日	事業内容
「福祉りゅうおう」の発行	令和７年 5月1日 8月1日 11月１日 令和８年 2月１日	 NO.148号 社協活動への住民参加の促進とPRに努めました。 NO.149号 社協活動への住民参加の促進とPRに努めました。 NO.150号 社協活動への住民参加の促進とPRに努めました。 NO.151号 社協活動への住民参加の促進とPRに努めました。
ホームページを活用した福祉委員への情報発信	随時	社協ホームページ内に福祉委員限定ページを設けました。運用開始初年度で、ページ活用が上手くできず、今後は福祉委員への情報発信手段としての活用を進めていきたい。
こどもひろば便りの発行	毎月	こどもひろば便り「どらんちゅ」を毎月1回発行し、事業の近況報告やお知らせなどを行いました。 また、参加者の募集や月間の予定を掲載し、参加者の拡大を図りました。
いつまでも元気クラブだよりの発行	毎月	鏡・弓削・鵜川ふれあいプラザ等で実施している「いつまでも元気クラブ」（生涯現役事業）の介護予防事業や「いきいき趣味活動」による仲間づくりなどの情報を「いつまでも元気クラブ」だよりとして毎月発行し、高齢者の健康維持や介護予防の活動に参加していただけるよう周知しました。
ホームページやSNS による情報発信	年間	インスタグラム、フェイスブックやLINE公式アカウント等のSNSを随時更新し、社協事業やこどもひろばの月間予定の公開・タイムリーな情報や子育て情報等の発信を行いました。
医療機関の ＴＶスライドを通した事業紹介		実績なし。
公民館の掲示板の活用	年間	公民館の交竜フロアに常設の展示コーナーを設置し、事業の紹介・参加者の募集・講座の案内などを行いました。

2.その他の事業、啓発活動

（1）共同募金運動の推進

共同募金委員会事務局として募金活動の推進、配分活動の実施や啓発活動を行いました。

要援護世帯、小地域ふれあい事業、福祉団体への事業助成を行いました。

（2）社会を明るくする運動

社会を明るくする運動、青少年健全育成活動に協力しました。7月の強調月間には、のぼり旗、ポスターの掲示、公用車へのステッカー貼り付け等啓発活動を推進しました。

また、町長へ内閣総理大臣メッセージ伝達を行いました。

令和7年6月4日	竜王町推進委員会
7月1日	啓発活動重点活動 愛の学校訪問 メッセージ伝達式 青少年健全育成の懇談会

(3) 平和祈念事業

戦後 80 年を契機に、遺族会、竜王町および社会福祉協議会が平和祈念碑の建立等に関する協定を締結し、東西忠魂碑の解体および恒久平和を祈念するための平和祈念碑を建立しました。

11 月 15 日に戦没者の慰霊と恒久平和の実現のため、町および社会福祉協議会主催で第 15 回竜王町平和祈念式の開催、ならびに平和祈念碑の除幕式を実施しました。

(4) 竜王町社会福祉大会の開催

11 月 24 日に竜王町公民館ホールにおいて開催しました。令和 7 年度は、ボランティア表彰や 「こどもを中心とした好循環なまちづくり」をテーマにしたパネルディスカッションを実施し、町内活動団体より3団体に登壇いただき、取り組みの紹介や意見交換を行いました。

また、ボランティア活動紹介ブースなどを設置しました。

●社会福祉協議会会長表彰 10 人(団体)
●滋賀県共同募金委員会会長表彰の伝達 2 人、感謝状の伝達 4 団体
●パネルディスカッション
「こどもを中心とした好循環なまちづくり」
・コーディネーター(司会): 一般社団法人 Atlas 日野 貴博 氏
・パネリスト: Lullaby 渡瀬 遥人 氏
竜王子育てネットワーク 櫻井 絵里子 氏
竜王町地域学校協働本部 関川 雅之 氏

(1)プラザの管理

鏡、弓削、鵜川の3ふれあいプラザを竜王町からの指定管理制度により管理を行いました。

	プラザ名	実施日	内 容
清掃・点検	3 施設	随 時	日々の清掃
		12 月	年末大掃除
		2 月6日	消防設備点検(業務委託)
		2 月 27 日	カーペット洗浄(業務委託)
	弓削	5月1日、6月 19 日 7 月 28 日、9月 30 日	除草(シルバー人材センター)
	鏡	5月1日、6月 19 日 7 月 28 日、9月 30 日	除草(シルバー人材センター)
修	鵜川	8月 25 日	蛍光灯 2 基 LED に交換

繕・交換	弓削	4月4日 12 月 18 日	誘導灯の交換(R6 年度消防設備点検結果に基づく) 調理室エアコン取替
	鏡	4月4日 5 月 19 日 5 月 10 日～21 日 2 月 17 日	誘導灯の交換(R6 年度消防設備点検結果に基づく) 洋室照明スイッチ修理 屋根の修理 給湯器取替
その他	3 施設	4 月中 5 月最終週	新 AED の設置(福祉課対応) 旧 AED の撤去(福祉課対応)
	鵜川	9 月 3 日	セコム設備機器部品交換
	弓削	5 月 13 日 5 月 27 日	桜の樹の毛虫駆除（シルバー人材センター） 屋根瓦の点検
避難訓練	鵜川	6 月 3 日	消防避難訓練
	弓削	6 月 20 日	
	鏡	7 月 23 日	

(2)プラザの運営

介護予防、地域交流、ボランティアの活動場所として活用されるよう運営を行いました。

〈年間総利用人数〉

	令和7年度	令和 6 年度	令和 5 年度
鵜川プラザ	176 回／2,317 人	227 回／2,756 人	258 回／2,852 人
弓削プラザ	107 回／1,627 人	133 回／2,004 人	138 回／2,145 人
鏡プラザ	136 回／2,087 人	154 回／2,419 人	172 回／2,519 人

①生涯現役事業

令和 7 年度は、あえんぼクリニックの予約条件と開催決定のタイミングが合わず、開催が難しい状況が続きました。また、西山の貸農園については、維持方法について参加者同士で協議が行われ、利用を継続せず農園を持ち主へ返却することとなりました。

〈令和7年度活動別参加者数（プラザ別）〉

		鵜川プラザ		弓削プラザ		鏡プラザ		その他	
令和7年度		159 回	1,548 人	95 回	1,200 人	67 回	396 人	-	-
種別	余暇活動	31 回	433 人	-	-	23 回	107 人	-	-
	交流活動	12 回	143 人	-	-	-	-	-	-
	運動器機能向上	39 回	436 人	36 回	479 人	28 回	102 人	-	-
	文化活動	33 回	300 人	50 回	667 人	16 回	187 人	-	-
	自学自習	32 回	170 人	-		-	-	-	-
	ボランティア活動	12 回	66 人	9回	54 人	-	-	-	-
令和6年度		199 回	2,038 人	80 回	984 人	81 回	331 人	5 回	33 人
令和5年度		212 回	1,831 人	90 回	1,014 人	113 回	516 人	16 回	150 人

②「いきいき趣味活動」（高齢者趣味活動）

〈受託している３プラザでの実績〉

ふれあいプラザにおいて、書道教室、編物手芸教室を実施しました。

		教室数	延べ開催回数	延べ参加者人数
令和７年度		3	36回	281人
内訳	鵜川プラザ	1	12回	159人
	弓削プラザ	1	12回	50人
	鏡プラザ	1	12回	72人
令和６年度		3	36回	274人
令和５年度		3	36回	273人

③こどもひろばの開催

こどもひろばの主な「イベント」を鏡ふれあいプラザで開催、「出張ひろば」を弓削ふれあいプラザで開催しました。また、「学年別ひろば」を鏡ふれあいプラザで開催しました。

〈こどもひろばの開催〉　※人数には、スタッフおよび講師等を含む

開催場所		令和7年度	令和６年度	令和５年度
		開催回数／延べ人数	開催回数／延べ人数	開催回数／延べ人数
弓削ふれあいプラザ「出張ひろば」		25 回／472 人	38 回／831 人	31 回／818 人
鏡ふれあいプラザ	主な「イベント」	33 回／1047 人 (準備 1 回 2 人含む)	37 回／1096 人 (準備 5 回 7 人含む)	21 回／917 人
	「学年別ひろば」	25 回／505 人 12 月 1 件中止有り(スタッフのみ利用)	24 回／835 人	24 回／786 人

④自主事業（介護予防は除く）

社協が主催する講習会や交流会等の会場としてふれあいプラザを利用しました。

	鵜川プラザ	弓削プラザ	鏡プラザ
令和7年度	6件／27 人	2件／47 人	－
令和6年度	9件／46 人	2 件／34 人	－
令和5年度	19 件／102 人	2 件／85 人	－

（3）貸館事業

〈貸館事業実績 上段：利用件数 下段：延べ利用人数〉

			鵜川プラザ	弓削プラザ	鏡プラザ
令和7年度			13 件	0 件	0 件
			415 人	0 人	0 人
	内訳	竜王町（選挙含む）	2 件	－	－
			14 人	－	－
		町事業委託先事業所	－	－	－
			－	－	－
		関係福祉団体	－	－	－
			－	－	－
		自治会	5 件	－	－
			262 人	－	－
		その他	6 件	－	－
			139 人	－	－
令和 6 年度（自主事業含まない）			8 件／261 人	1 件／14 人	0 件／0 人
令和 5 年度（自主事業含まない）			14 件／338 人	3 件／11 人	3 件／16 人

（4）保健センターでの消防訓練（令和8年3月24日）

これまでの消防訓練は、行政が福祉ステーションと保健センターで一体的に実施してきたものに参加する形でしたが、令和7年度は社協単独で実施しました。

今回はじめて、こどもひろば（一時預かり）実施時間中に行い、参加者にも避難の協力を得て行いました。